議会報告会　会場報告書

担当班：２班　　班代表者：　　向井　千尋

概要			
地区名　：八上地区 日時　　：令和４年　５月　12 日（木） 19：30～：21：30 場所　　：高城会館 参加人数：９人(男９人･女０人)	【出席議員】 向井千尋 大上和則 安井博幸 河南克典 森本富夫	（１）開会あいさつ　：向井千尋 （２）議会報告　　：安井博幸 （３）質疑応答　　：下記の通り （４）意見･提言等　：下記の通り （５）閉会あいさつ　：大上和則	挨拶･総括　　：向井千尋 司会進行　　：大上和則 報告　　：安井博幸 記録　　：河南克典 会場（マイク）　：森本富夫

【主な質疑】

質疑・意見	回答
・少子高齢化、農業の担い手不足が深刻な問題。去年は米の値段が一気に千円も下がり赤字となった。これからどのようなとりくみをされるのか。定住促進、わくわく農村プラン、農業をやりたい人に補助金、法人、生産組合、横のつながりが必要なので市でプロデュースしてほしい。	・昨年はコロナ対策交付金で米農家に対して米価格に補助をしています。今年度は減農薬の農都のめぐみ米の普及啓発や、補助金を出しています。 ・スマート農業への取組みの提案もしていますので、米のブランド化、農都のめぐみ米の位置づけをしっかりして、生き残りをかけていくべきだと考えています。

	議会からしっかり提案していきたいと思います。
・１反の田んぼを業者に委託すると 17 万かかり、販売価格は６，７万の実態の中でめぐみ米の補助では役に立たない。スマート農業の投資も馬鹿にならない。生産組合の実働は少ない。厳しい、農都を残らせるために小規模な農業を残らせる手段を考えてほしい。	・小規模な兼業農家が、丹波篠山の農業を支えています。次の世代に伝えていけるように、行政と考えていくのは議員の責任であると考えていますので、収支が合う農業となるように考えていきます。
・高齢化のため危険な尾根川の草刈りを今年から止めることになった。小多田３自治会で３キロの草刈り。県や市もやらない。道路にはみだした分のみ。これから景観なども悪くなるので維持管理をお願いしたい。 しかし、若い人が数名で補助金で全部刈る、と言ってくれたので、来年度以降の可能性として考えていきたい。	・本市の大きな課題の一つであると思います。
・篠山川の竹藪を伐採しているが、大水がでたときに決壊するのではないか心配だ。京口橋の辺りは河底の土砂が溜まっているようだが。	・浚渫の基準があり、維持管理は県の管理になります。
・議会報告会とは何か？ここで発言したらどうなるのか？市長のふるさといちばん会議の方が有効である。議会で目的をしぼって話してもらえるほうがよい。我が自治会は 17 世帯で高齢化率は 51％、10 年先には存続して	・議会に執行権はなく、皆さまの声を市政に反映していくものになります。聞かせて頂いたお声は繋ぎ、提案していきます。

いるのか。八上校区の中でも消え去る運命にある。	
・①小規模農業は赤字経営。②高齢化が進んで一人暮らしの高齢者が増えている。声かけして自治会でも対応しているが、どうしたらいいのか。	・高齢化についてはコロナ禍でつながりが断たれているので、もう一度再生できるように働きかけていきたいと考えています。 　移住促進は進んでおり、空き家活用に協力頂きたいと思います。
・議員定数について、なぜ 3 名が辞められたのか教えてほしい。	・一人は市長からの任命で教育長に就任されたことによる辞職、一人は自己都合で辞職、一人は衆議院選挙に出馬されることによる辞職により 3 人欠員となりました。
・丹後議員が議員辞職して教育長になった。市長が議員を引き抜くことあっていいのか。他の市町に聞いたが、ありえないとのこと。	・市長が議員の中から教育長を選ぶ事例はありません。
・消防団の団員が定数を満たせていない。団員を集めることに苦労している。消防団のあり方を検討してほしい。	・市職員などを中心として機能別消防団の必要性を提案しています。これからも検討していきたいと思います。